

組織培養によるタラノキの簡易育苗法

タラノキを新規導入する場合に、組織培養を利用して短期間に大量の種苗が育成できる簡易な種苗生産システムを確立しました。

- ★組織培養再生植物の根切片を、2,4-Dを添加したMS培地で培養するとカルスが得られます。



- ★カルスは、植物ホルモン無添加のMS培地に移植して継代培養すると、不定胚を形成します。



- ★不定胚から伸長したシュートは、バームキュライトを詰めたセル成型トレイに移植して密閉容器内で管理すると発根します



- ★セル成型トレイで育苗した培養苗は、ポットで1か月間養成し、圃場に定植します。



- ★培養苗の形態は従来の根挿し繁殖苗と差はなく、圃場に定植後の生育も順調です。



根切片から誘導した不定胚



培養体(シュート)の分割移植



セル成型トレイで育苗した培養苗

● この手法は、当センターの実験室を利用して、農業者自身が行うことができます。
(実験室利用規程による)